

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年5月30日(2025.5.30)

【公開番号】特開2025-26567(P2025-26567A)

【公開日】令和7年2月21日(2025.2.21)

【年通号数】公開公報(特許)2025-033

【出願番号】特願2024-213099(P2024-213099)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 5 0

【手続補正書】

【提出日】令和7年5月22日(2025.5.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種の絵柄が周方向に付された複数の周回体と、
各前記周回体について一部の絵柄を視認可能とする表示部と、
各前記周回体の周回を開始するための開始操作が行われる始動操作手段と、
各前記周回体の周回を停止するための停止操作が行われる停止操作手段と、
前記始動操作手段が操作された場合に各前記周回体の周回を開始させ、前記停止操作手段が操作された場合に各前記周回体の周回を停止させる駆動制御手段と、
遊技価値を遊技の賭数として設定するための賭数操作が行われる賭数操作手段と、
前記賭数操作に基づき、遊技の賭数を設定する賭数設定手段と、
前記始動操作手段の操作に基づき、前記賭数設定手段により設定された賭数に応じて遊技者に特典を付与することの抽選を行う抽選手段と、
前記抽選手段による抽選結果に対応する特典を遊技価値として付与可能な付与手段と、
前記付与手段により付与された遊技価値を記憶することが可能な記憶手段と、
前記記憶手段に記憶されている遊技価値の精算操作が行われる精算操作手段と、
前記賭数操作が行われた場合、特定報知手段の報知態様を第1報知態様から第2報知態様に切り替えることが可能な手段と、
を備え、

30

前記精算操作に基づく遊技価値の精算中において、前記特定報知手段の報知態様を前記第1報知態様から前記第2報知態様に切り替えることが可能とされており、当該特定報知手段の報知態様が前記第2報知態様に切り替わった後も、切り替わり前に実行されていた前記遊技価値の精算が継続される構成であり、
前記精算操作に基づく遊技価値の精算に対応する所定報知を実行可能な構成であり、
前記切り替わり前に実行されていた前記遊技価値の精算が継続される状況において、前記所定報知を実行可能に構成されていることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 0 7 】

本発明は、
複数種の絵柄が周方向に付された複数の周回体と、
各前記周回体について一部の絵柄を視認可能とする表示部と、
各前記周回体の周回を開始するための開始操作が行われる始動操作手段と、
各前記周回体の周回を停止するための停止操作が行われる停止操作手段と、
前記始動操作手段が操作された場合に各前記周回体の周回を開始させ、前記停止操作手段が操作された場合に各前記周回体の周回を停止させる駆動制御手段と、
遊技価値を遊技の賭数として設定するための賭数操作が行われる賭数操作手段と、
前記賭数操作に基づき、遊技の賭数を設定する賭数設定手段と、
前記始動操作手段の操作に基づき、前記賭数設定手段により設定された賭数に応じて遊技者に特典を付与することの抽選を行う抽選手段と、
前記抽選手段による抽選結果に対応する特典を遊技価値として付与可能な付与手段と、
前記付与手段により付与された遊技価値を記憶することが可能な記憶手段と、
前記記憶手段に記憶されている遊技価値の精算操作が行われる精算操作手段と、
前記賭数操作が行われた場合、特定報知手段の報知態様を第1報知態様から第2報知態様に切り替えることが可能な手段と、
を備え、

前記精算操作に基づく遊技価値の精算中において、前記特定報知手段の報知態様を前記第1報知態様から前記第2報知態様に切り替えることが可能とされており、当該特定報知手段の報知態様が前記第2報知態様に切り替わった後も、切り替わり前に実行されていた前記遊技価値の精算が継続される構成であり、
前記精算操作に基づく遊技価値の精算に対応する所定報知を実行可能な構成であり、
前記切り替わり前に実行されていた前記遊技価値の精算が継続される状況において、前記所定報知を実行可能に構成されていることを特徴とする。

10

20

30

40

50